

WHO等国際機関の車椅子・支援技術関係資料翻訳事業

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15 三電舎ビル2F

助成事業の概要

WHO が主宰する支援技術の世界的ネットワーク「支援技術に関する世界協力 (GATE)」が作成した「支援製品教習」のさまざまな教習モジュールのうち、基礎となり当協会の専門分野に特に関連する5モジュールを中心に、以下を日本語に翻訳・公開した。

- ・キーワード表とプラットフォームウェブページ
- ・支援製品概論モジュール教材
- ・移動支援製品モジュール教材
- ・歩行支援用品モジュール教材
- ・緊急事態での支援製品モジュール教材
- ・緊急事態での車椅子モジュール教材

英語原資料からの翻訳作業は下訳者が WHO 担当者の指導の下で進め、閲読会で日本の専門家が内容を確認した。実施日程は以下の通り：

2025.4 WHO 担当者とのオンライン打ち合わせ

2025.5 TAP 文書資料・教材の下訳

2025.11 WHO 担当者とのオンライン打ち合わせ

2025.11 TAP オンライン資料の下訳

2026.2 日本側専門家による閲読用資料作成

2026.3 下訳者と日本側専門家による閲読会

2026.3 WHO により TAP ウェブサイトにて日本語版を公開

2026.3 当協会のウェブサイトにて広報、報告書作成

事業の成果

TAP とは、世界の、特に開発途上地域や緊急状

況にある地域での、プライマリーヘルスケアははじめ地域レベルの人材に基礎的な支援製品の供与方法についての教習を提供し、保健サービスへのアクセスを向上させるために、WHO が開発したブレンド型学習教材である。さまざまな保健テーマに関するモジュール式オンライン教習コースを提供している。世界全体で、155 か国の 1.4 万人超の登録ユーザーによって活用されている。

今回翻訳した資料および学習モジュールは、全て本邦初訳である。「支援製品概論」は、全モジュールに通底する総論であり製品別モジュールを履修する前提となるもので、支援技術の概要および概念、供与方法の基礎を教える。「移動支援製品」モジュールは「歩行支援用品」モジュールはそれに続き、移動支援製品のうち特に歩行杖、クラッチ、歩行器などの基礎的歩行支援用品の選択や供与方法を取り扱う。「緊急事態での支援製品」モジュールは自然災害や紛争などの緊急状況での支援製品供与に関する概論で、使用される状況に鑑み、支援製品概論を飛ばしてこれからも受講が可能である。これに続く「緊急事態での車椅子」モジュールは、緊急状況に特化した、リソースが極めて限られた状況での安全な車椅子の供与方法を扱っている。

これらの資料は、当協会の今後の国際協力活動における基礎資料として役立つ。また、支援製品についてまとまった講習を受ける機会がない医療・福祉・支援教育などの人材にとっても手軽な学習・復習資料として役立つものである。さらに、これらの資料に通底している、WHO はじめ世界の諸機関の障害や支援技術に対する、人権重視、ユーザー

中心、参加とインクルージョンの促進といった基本的な考え方をすることは、国内の車椅子や身体障害、社会福祉に関わる団体・機関にとっても、これらのテーマに関する世界的な水準や認識を把握し、また講習などを企画し、政策を検討する上でも基礎資料となる。

成果の広報・公表

今年度翻訳した TAP の教習モジュール 5 つについては、すでに以下の WHO のウェブサイトにて、日本語で、かつ無料で受講が可能になっている。

・ Learning on TAP

(<https://www.gate-tap.org/ja/>)

学習を始めるには、上記ホームページの「始める」をクリックすると「Registration form」（登録フォーム、日本語未訳）のページが開く。「Username」に自分で設定したユーザーネーム、「Email address」にログインに用いるメールアドレスを入力して「Next」をクリックすると、TAP team 名のログイン用メールが届き、5 分以内に「Log in securely」ボタンまたは本文のログイン URL をクリックするとダッシュボードページが開いて受講を始められる。言語は各ページ右上のプルダウンで変更でき、メニューに「日本語」が含まれているページが翻訳済みである。広報のため当協会のウェブサイトにもリンクと解説を掲載し(<http://www.j-aws.jp/who/>) また当協会の会員企業、関係者、国内の身体障害・リハビリテーション・社会福祉・支援機器の関係機関・省庁・国際機関等にも通知して積極的に広報を進める。

今後の展開

本協会では、TAP 日本語版作成事業の第 2 期として、本協会の専門である車椅子・シーティング機器と隣接する領域の機器として現場で併用され、

本協会では、TAP 日本語版作成事業の第 2 期として、本協会の専門である車椅子・シーティング機器と隣接する領域の機器として現場で併用され、その供与技能が要求されることの多い、以下の支援製品モジュールを、WHO 担当者および日本の専門家の協力を得て翻訳する：

- ・ 治療靴
- ・ 硬性着脱式ブーツ
- ・ 移乗板
- ・ 可搬式スロープ
- ・ トイレ・シャワー用椅子

第 1 期と同様、作業内容は原テキスト翻訳、自動翻訳の修正、用語検討や試用版の確認など。成果物は WHO-GATE のウェブサイトを通じて公開し、リンクを当協会のウェブサイトに掲載し関係各所にも広報する。

また、今年 2 月に WHO が出版した TAP のユーザーガイドも併せて翻訳する。これは TAP のみならずブレンド型教習の構築・運営に関する資料として役立つだけでなく TAP はじめ WHO の教習全体に通底する世界観や哲学を理解する上で重要である。TAP は関係各所に広報して活用を勧めるだけでなく、本協会が主宰する講習会などでもその一部、または追加講習として活用する予定である。